

平成 29 年 4 月 17 日

関係各位様

かごしま難病支援ネットワーク
会長 黒木 恵子



「かごしま難病支援ネットワーク公開シンポジウム」

ご参加のお願い

陽春の候、時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は、かごしま難病支援ネットワークの活動にご協力ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、

昨年度 2 月 11 日に開催できませんでした「公開シンポジウム」を、下記の要領で開催予定でございます。日程の関係から、当日は、午前中の総会後の開催となります。当初予定しておりましたワークショップは患者さんの体調のことも考え、今回は行いません。

内容につきましては、2 月に予定しておりました熊本・大分に渡る地震など全国各地を襲う自然災害に対して、お招きしますお二人の先生方のご講演を拝聴し、考え、学びの場になればと考えております。何卒ご協力をお願いいたします。

記

1. 行事名称：かごしま難病支援ネットワーク公開シンポジウム
災害が起きたら、どうする?みんなで考えよう
2. 開催日時：平成 29 年 6 月 25 日（日）午後 13 時～15 時 30 分
(受付 12 時 30 分から)
3. 開催場所：ハートピアかごしま 1 階多目的ホール
4. 主 催：かごしま難病支援ネットワーク
5. 内 容：別紙の通り
6. 入場料金：無料
7. 対 象：難病に関わる行政・医療・介護・教育などの関係者・ボランティア・患者家族等

尚、3 枚目の参加申込み書にご記入の上、FAX お願いいたします。

問い合わせ： かごしま難病支援ネットワーク
鹿児島市小野 1 丁目 1-1
ハートピアかごしま 3 階
電話：099-218-3455
Eメール kgnanbyonet@po2.synapse.ne.jp

当日のスケジュール

受付開始 12:30 13:00 開始予定

熊本学園大学 吉村先生のご講演・鹿児島大学 井村隆介先生のご講演
質疑応答

15時30分終了予定でございます。

シンポジウムにて、ご講演下さる先生方の紹介

吉村千恵先生

熊本学園大学社会福祉学部特定事業教員

地域研究、東南アジア研究、人類学、障害学をご専門にされ、現在減災ソーシャルワークの講義をされておられます。

減災ソーシャルワークは、被災された人々の「心の復興」です。「減災ソーシャルワーク」関連の科目を履修するほか、東北など被災地域へのフィールドワークを行い、実際に被災した人たちの暮らしや気持ちがどう変わったのか、直接聞き取り調査を行っています。このプログラムを修了することで、「減災型地域社会のリーダーの認定が受けられ、将来は行政や企業、地域において減災のためのリーダーとして活躍することが期待されています。

熊本では、減災型地域社会のリーダー養成(自然科学・社会科学・社会福祉・保健科学)の為、熊本学園大学・熊本大学・熊本県立大学・熊本保健科学大学の四大学が相互に履修する取り組みがされているようです。

井村隆介先生

鹿児島大学理工学域理学系准教授

地震地質学をご専門にされ、自然史、自然災害、噴火史、活断層など(自然史の研究 ○活断層の活動履歴の研究 ○地質学的手法による火山の噴火史研究 ○史料を用いた噴火・地震災害史の研究 ○琉球弧のネオテクトニクスに関する研究)

を研究されておられます。

井村研究室では、地層の重なり方や地形を調べて、最近数十万年間の自然環境の変遷(山地や平野の生い立ち、地震や噴火活動の履歴など)を明らかにすることと、自然災害を主な研究テーマとされておられるようです。

【送信票不要】

かごしま難病支援ネットワーク

FAX : 099-228-5510

平成 29 年 月 日

かごしま難病支援ネットワーク公開シンポジウム申込み書

参加する 参加できない (それぞれに○をお願いします)

所 属 (勤務先等)	ふりがな 氏 名	連 絡 先 (住所・電話・メールアドレス)

ご参加できない場合は、メッセージを書いて頂けたら幸いです

※FAXにて申し込みください

申し込み締切り：平成29年5月26日（金）